

観測井戸の洗浄の結果について

1 概要

第 39 回評価委員会において説明した観測井戸の洗浄について、11 月 30 日に実施したため、その結果等について報告するもの。

2 目的

処分場内の観測井戸は、設置からこれまで洗浄等の取組は行っておらず、井戸内には浸透水以外の夾雑物や汚れが堆積しているものと推察される。これらが水質に影響を及ぼしている可能性や、井戸の閉塞につながるおそれを取り除くため、観測井戸の洗浄を行う。

3 手法

吸引車を用いて、観測井戸の内積の約 2 倍の浸透水を揚水し、産業廃棄物として処分した。対象井戸は、前回の説明のとおり No.3b、No.5b、H16-5、H16-11 の 4 か所を選定した。また、井戸洗浄後の 12 月 10 日に行った水質調査時の状況を、洗浄以前の状況と比較した。

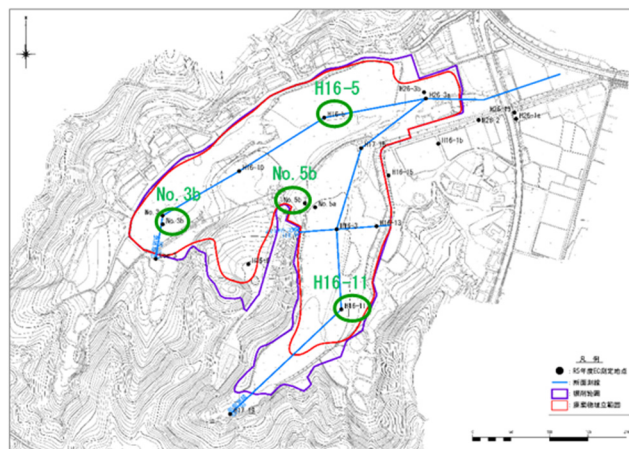


図 1：井戸洗浄実施箇所

4 洗浄時の状況



写真 1：井戸洗浄実施状況

	管頭下水位 (揚水前-m)	管頭下水位 (揚水直後-m)	管頭下水位 (揚水1時間後-m)	井戸内積概算 (L)	推定揚水量 (L)	浸透水の色相
No. 3b	2.58	2.70	2.60	690	1,200	無色
No. 5b	4.13	5.23	4.45	360	700	無色～淡黒色
H16-5	2.73	5.70	3.12	74	140	淡赤褐色～淡黒色
H16-11	4.10	4.20	4.18	66	130	無色～淡黒色

表 1：洗浄時の井戸の状況

浸透水の色相が淡赤褐色や淡黒色を呈した井戸は、蓄積した汚れが浸透水と共に揚水されたものと推察される。揚水後は、No.5b は 1m 程度、H16-5 は約 3m 水位が低下したが、No.3b、H16-11 は約 0.1m の低下だった。揚水 1 時間後に水位を再度測定したところ、回復傾向にあることが確認された。なお、10 日後に再度測定したところ、揚水前と同程度の水位まで回復していた。

5 洗浄後の状況

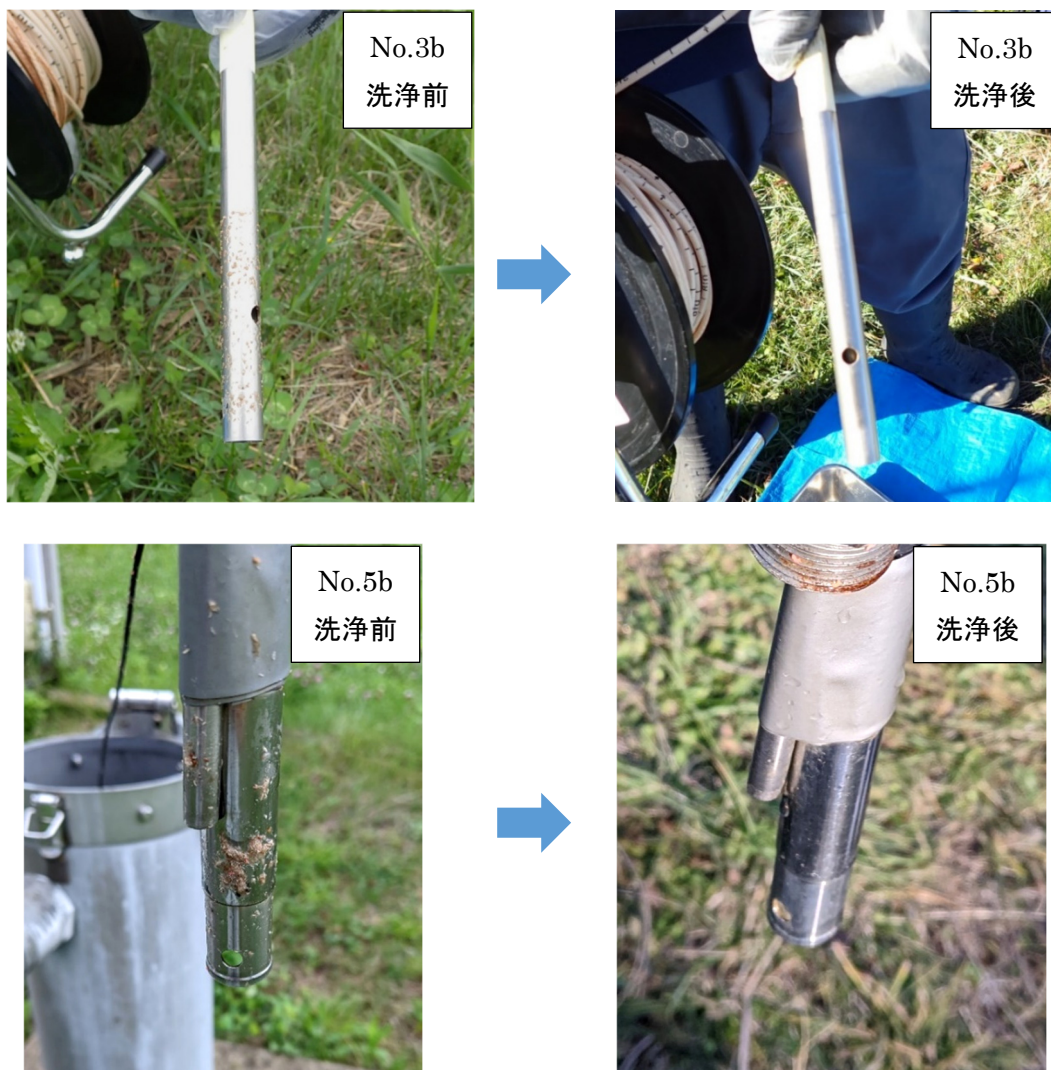


写真 2：洗浄前後の器具の汚染状況

洗浄後は、洗浄前より器具に付着する汚れが減少しており、揚水により汚れが除去されたものと思われた。

6 今後の実施について

井戸洗浄により汚れが除去され、一定の効果が得られたことから、他の井戸についても順次洗浄を行うこととする。具体的な実施時期や洗浄箇所については予算の執行状況を踏まえて検討する。